

## 禅昌寺

16 世紀に現在の形で創建された禅昌寺は、禅仏教の臨済宗のお寺で、JR 高山本線下呂駅から 1 つ隣の駅の、のどかな萩原地区にあります。禅昌寺駅からは、のんびり歩いて 10 分で行けます。

このお寺の敷地内には、宋の建築様式で建てられたいくつかの建築物があります。お寺の所定の一部は公開されており、寺の建物の中に入ることのできる部屋の 1 つが大書院です。この部屋には著名な画家で臨済宗の導師でもある雪舟（1420～1506 年）の筆による有名な水墨画「八方睨みの達磨」が飾ってあります。またこの部屋には、木の引き戸に直接描かれた数点を含む他の絵もあります。

お寺の裏には手入れの行き届いた 16 世紀の日本庭園で、岐阜県指定「名勝」でもある萬歳洞があり、生い茂った丸い低木や石組みが森の中へと広がっています。「ハート」や「スピリッツ」を意味する漢字の「心」のような形をした池からは、泡立つ水の音が聞こえてきます。

境内とは反対側の観音堂の裏に立つ 40 メートルの杉の木は、樹齢 1,200 年以上とされています。その巨大な幹の外周は、約 10 メートルあります。